



**Media Outlet:** Daily Traffic News  
**Date:** June 26, 2014  
**Reach:** 390,000 Total Reach  
**Frequency:** Daily  
**Media Relations Activity:** - Interview Mr. Praveen Singh (ARADA Systems),  
**Synopsis:**

**Title:** ARADA Systems announces an ultra small DSRC device, the world's first of the kind, to be incorporated in smart phones. This device could be equipped with traffic light, vehicle and smart phone to help decrease car accidents considerably. In Japan, DSRC is used only for road-to-vehicle communications. However, Department of Transportation of the United States announces that they will draw up legalization of making DSRC device in every vehicle as mandatory. EU will also follow this movement. With this global movement of DSRC expansion, ARADA Systems, Canada will introduce an ultra small DSRC device into Japanese market. Mr. Praveen Singh, CEO of ARADA Systems explains the benefits of the ultra small DSRC device. ARADA has received orders from local governments of California, Michigan, Pennsylvania and Florida on the DSRC device that are equipped with traffic light, and a trial implementation has been underway. Mr. Praveen also says that they put emphasis on development of DSRC on the smart phone. He also aims to make the price of DSRC down to under 10,000 Japanese yen in order to develop the market and increase sales.

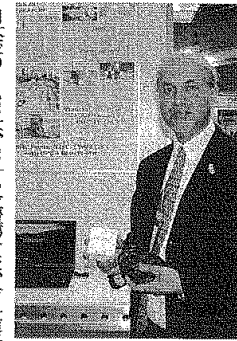
# 超小型のDSRCデバイス

## 加アラダシステムズが発表

### 信号機・車・スマホに装備

#### 低価格で事故大幅削減の期待

米運輸省(DOT)が今年2月に、自動車にDSRC(5.8GHz帯の特定狭域通信)車載器の装備を義務付ける規制案の策定に乗り組むことを発表。欧州もこれに追随する姿勢を見せたことから、日本では路車間通信のみを活用しているDSRCの活用がグローバルで加速していった。そうして、カナダのDSRCユニットメーカー、アラダシステムズが、世界初のスマートフォンの中に入れた超小型DSRCデバイスを発表。今夏からデバイスの出荷を開始することを明らかにした。



日本をDSRCは、EUの位置づけで、有料道路TTCの後継システムといの料金収受ドライバー

車載用DSRCユニットを接続するアラダシステムズのアラヴィン・シング社長兼CEO

車を含む事故削減に役立てようというものだ。アラダ社は、DOTの決定を受けて、路側機および車載器の小型・低コストユニットを発表。各社2枚ほどのサイズで、従来、50万円近かった価格を2万円以下にまで抑えて発売している。結果、米国でカリフォルニア、ミシガン、ペンシルバニア、フロリダ各州の地方自治体から信号機に装備するDSRC路側ユニットを受注。安全情報の発信に加え、セキニリティー情報を送信、さら

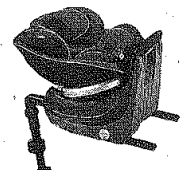
に信号が変わるタイミングを車に伝えることで、燃費の削減に結びついているという。アラダ社のアラヴィン・シング社長兼CEOは、「新しいシステムでは、つねに競争相手が先かという議論になるので、まず先に装備させる」という決意の意気込みを語り、DOTの判断を高く評価、「ドライバーが

より多くの情報を受け取ることは、安全を大きく進展させる。特に夜間にも歩行者や自転車の存在を認識できるので、事故を大幅に削減できるはずだ」と、DSRC搭載の効果を強調する。また、スマートフォンへの搭載を加速させるべく、アンドロイドやLinuxベースでアプリを開発できるキットを提供。DSRC情報を活用

した新しいアプリが登場することでユーザーのニーズを喚起し、普及を図る戦略を示した。また「ワイヤレスの価格が下がったことで、幅広い機器に装備され、さらなる量産効果が高まった」と同じく、DSRCユニットでも起るはずだと予測し、「まずは1万円以下の価格を目指したい」と、販売拡大に意欲を示した。

#### 新製品ニュース

チャイルドシートコンビは、簡単な操作で360度回転するISOFIX固定方式のチャイルドシート「コンビホワイトヘルネルームISOFIXエッグショックND」を7月下旬から



販売する。ワンタッチの前向き・後ろ向き3段階リクライニング調節と8段階に伸び縮みするヘッドレスト調節で、合計48パターンのシートアレンジが可能。また、洗えて通気性も向上させた、進化した衝撃吸収素材「エッグショック